

令和4年10月28日

5年生保護者の皆様

多摩市立西落合小学校
校長 池田 泰章

脊柱側わん検診のお知らせ

多摩市では、小学校5年生と中学校1年生を対象に脊柱側わん検診(モアレ写真撮影による背骨の検査)を実施しております。児童生徒の成長期に見られる脊柱側わん症を早期に発見し、適切な対処を行うことを目的としております。つきましては、下記のとおり検診を実施しますのでお知らせいたします。

記

- 1 日時 : 11月11日(金) 午後1時30分～
- 2 会場 : 本校 理科室
- 3 内容 : モアレ写真撮影
※検査機関の方が学校に来て実施します。
※検診は上半身裸になるため、上下体育着に着替えます。
※髪の長い人は、髪の毛が背中にかからないように結ぶと
(お団子ヘアや、ポニーテール等) 検査を受けやすいです。
- 4 その他 : 当日欠席した場合、11月16日(水) 14:30～15:30に、
多摩市役所本庁舎3階 301・302会議室にて受診できます。
その際は、保護者同伴となります。

*裏面の多摩市教育委員会からの「脊柱側わん検診について」をお読みいただき、すでに医療機関にて経過観察中など特段の事情により受診しない場合は、**11月4日(金)までに**担任までお知らせください。

【問い合わせ】

多摩市教育委員会
学校支援課 保健・給食係
電話：042-338-6875

多摩市立西落合小学校
養護教諭
電話：042-374-0574

脊柱側わん検診について

保護者 様

多摩市教育委員会

多摩市では、モアレ写真撮影、専門医の診察等による脊柱側わん検診を実施しています。

1 脊柱側わん症とは

正常な脊柱（背骨）は、正面からみるとまっすぐですが、横からみると頸椎、胸椎、腰椎、仙尾椎と4つの自然なわん曲があります。（生理的わん曲）（図1）この脊柱配列が完成するには、生まれてから約20年かかると言われています。各わん曲は、身長伸びに連れその程度を変えますが、特に、二次性徴が現れる時期（小学校高学年～中学生）に著しく変化します。

脊柱側わん症は、この成長過程で、正面から見てまっすぐであるべき背骨がねじれながら側方に曲がる疾患のことで、単なる姿勢の悪さから起こるものではありません。

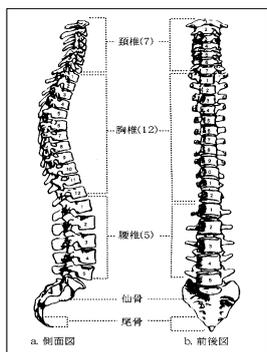


図1 正常の背骨（脊柱）

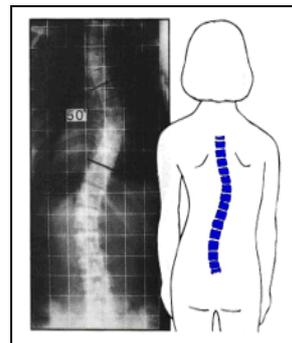


図2 突発性側わん症

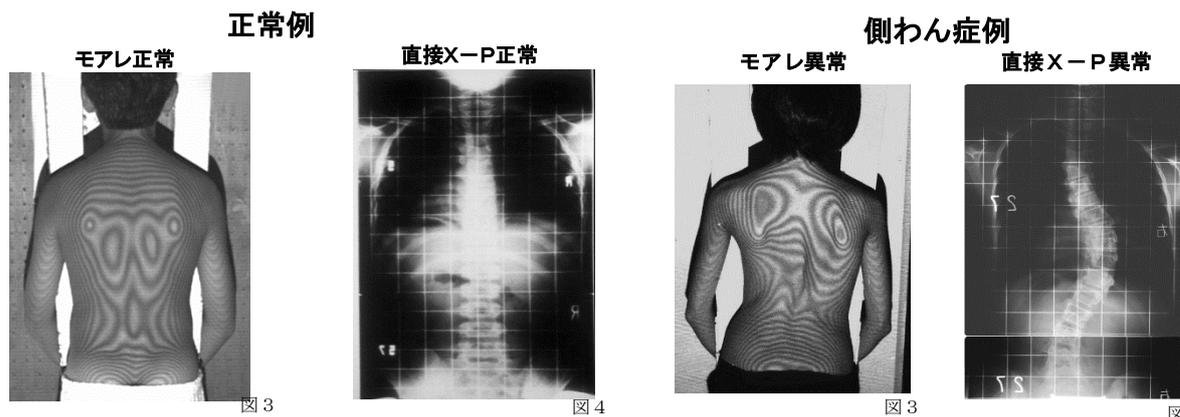
2 脊柱側わん検診

脊柱側わん症の多くは原因がわからない特発性側わん症と言われるものです。（図2）発育期には自覚症状があまりないため見過ごされがちですが、成人期以降になると変形が軽度でも腰痛や背部痛等が現れやすくなります。変形が高度になると心臓や肺に深刻な影響を与えるため、成人側わん症の治療法が確立されていない現在、成長過程における**早期発見・早期治療**はきわめて重要です。

そこで、多摩市では学校保健法（現在の学校保健安全法）の一部改正を受けて昭和58年度から多摩市学校保健計画に基づき次の方法で脊柱側わん検診を実施しています。

- (1) 対象者
 - ① 保護者の希望のある小学校5年生及び中学校1年生
 - ② 小学校・中学校の他学年で、学校医・学校長が必要と認めた児童・生徒（次年度再検者を含む）
- (2) 検診方法
 - ① 1次検診 モアレ写真撮影 ※（図3）
 - ② 2次検診 専門医の診察、直接エックス線撮影（立位全脊柱）（図4）
軽度の変形であっても、2次検診の対象となる場合があります。
疑問やご質問は学校の養護教諭又は教育委員会にお問い合わせください。

図3・図4 モアレとエックス線写真



※モアレとはフランス語で木目という意味です。可視光線を使用するもので、からだには全く影響はありません。
※撮影及び撮影後のフィルムの取り扱いにあたってはプライバシーに充分配慮しております。